

2008年6月10日

BMW ザウバーF1 チームがカナダ・グランプリで初優勝

モントリオール(カナダ)発 過去のレースにおいて快進撃が続くBMW ザウバーF1 チームがカナダ・グランプリ(GP)にて初優勝を決めました。ロバート・クビサが同チーム選手のニック・ハイドフェルドに先立ってゴール・イン、BMW ザウバーが栄えある1-2フィニッシュを飾りました。この結果、クビサはドライバーズ・ランキングでトップに浮上し、BMW ザウバーF1 チームはコンストラクターズ・ランキングで首位のフェラーリに3ポイント差の2位となりました。

ロバート・クビサ：優勝

BMW ザウバーF1.08-03/ BMW P86/8

最速ラップ :1:17.539 分 47周目

「BMW ザウバーF1 チームにとって初めての勝利を挙げることができて本当にうれしい。僕の故郷のポーランド、そしてファンたちにとっても喜ばしいニュースだったと思うよ。今回は自分にとって、困難が伴うレースだった。ダーク側からスタートを切ってから、キミ・ライコネンに並ばれたけれど、必死に持ちこたえた。ピットインしよう思っていた矢先のセーフティー・カーはタイミングが悪かった。イエロー・ライトの点灯があと3秒遅ければよかったのに…僕は走り続けなくてはならなかった。ピット・レーンが開くと、ほとんどのマシンが同時にピットインした。僕は赤いライトが出たので、出口でストップしたんだ。キミ(ライコネン)も僕の近くで止まっていたが、ハミルトンが彼のマシンに追突する凄まじい音が聞こえたよ。ルイス(ハミルトン)が僕ではなくてキミにクラッシュしたこと、運に守られたよ。このピットインの後、僕は前方のマシンに阻まれて、タイムロスしてしまった。ティモ・グロックのマシンは最後にピットインするから、それを追うしかなかった。21秒の差を埋めるために残されているのは8周という大きな賭けだ。ここで24秒の差を縮めて、ニックより先に出ることができた。その時は少し安心したけれど、いくつかのコーナーでは路面の舗装が剥がれて散乱していたから油断は大敵だ。けれど最後は結果に恵まれたから、今とても嬉しいよ！」

ニック・ハイドフェルド：2位

BMW ザウバーF1.08-03/ BMW P86/8

最速ラップ :1:17.430 分 25周目

「ロバートに優勝おめでとうと言いたい。彼は勝利にふさわしい走りだった！僕はスタートでミスをしてしまい、ルーベンス・バリチェロに抜かれてしまった。運よく彼を抜いてから、そのトラックでは先頭集団に入っていた。長時間の走行だったので、皆がピットインした時、僕は外れていた。かなり無理をしていたからね。そこで、大量の燃料搭載とソフトタイヤを使用するチャレンジングな戦略、「ワン・ストップ作戦」に切り替えた。そしてフェレナンド・アロンソの前を走り続けることができた。彼

の2度目のピットインの後、ロバートが僕の前を走っていたから、僕は2位を守ることができた。スタートでは8位だったにもかかわらず、ゴールを2位で終えられたのは快挙だと思う。特に近頃の自分の苦しい状態を考えればね。昨年モナコでアロンソとの接触事故で大破した僕のマシンに新しいシャーシを装備してくれたヒンウェイルのみんな、本当にどうもありがとう！」

マリオ・タイセン (BMW モータースポーツ・ディレクター)

素晴らしい、圧巻のレースだったよ。言葉では言い表せないくらいだ。今日、すべてがうまく運んだ。モントリオールの表彰台に立つことを望んでいたけれど、まさかワンツー・フィニッシュで優勝するとは思わなかったね。ロバートとニック、そしてミュンヘンとヒンウェイルにいるチームのみんな、おめでとう！これは画期的な出来事だ。ドライバーたちのミスもなく戦略が功を奏した。今日は大いに成功を祝いたいね。」

ウィリー・ランプ (テクニカル・ディレクター)

なんという光栄！このレースの感動は言葉にならないよ。ドライバーもチームのみんなも今日は完璧だった。ロバートはセーフティー・カーの進入で前方のマシンを追い越せなかつたが、その後の素晴らしい走りのおかげで首位の座を獲得できた。今日のニックの結果は素晴らしいかった。何せ彼は8位からのスタートだったのだからね。ある期間、彼はトラック内でトップを走っていた。「ワンツー作戦」の決断は、非常にリスクを伴うものだった。特に長時間ソフトタイヤで走行を続けることはニックの負担になりかねないものだから。今日の結果は2年半以上の経験と瞬時の決断力が絶妙に働いたものだと思うよ。」

詳細情報

2008年6月8日、カナダF1グランプリにてロバート・クビサが同チーム選手のニック・ハイドフェルドに先立ち、力強い走りで優勝。BMWザウバーF1チームに初勝利をもたらした。

今回は同チームにとって、42回目のグランプリ出場。

BMWザウバーF1チームは過去8回、表彰台を飾った記録がある。

2006年 ハンガリーGP (ニック・ハイドフェルド第3位)

2006年 イタリアGP (ロバート・クビサ/第3位)

2007年 カナダGP (ハイドフェルド第2位)

2007年 ハンガリーGP (ハイドフェルド第3位)

2008年 オーストラリアGP (ハイドフェルド第2位)

2008年 マレーシアGP (クビサ/第2位)

2008年 バーレーンGP (クビサ/第3位)

2008年 モナコGP (クビサ/第2位)

BMWザウバーF1チームの前身、ザウバーF1チームの最高記録は第3位。(過去6回達成)

BMW エンジン、F1 レース初優勝 :1982 年 6 月 13 日 (ネルソン・ピケ、ブラバム BMW 、カナダ)
BMW エンジン、F1 レース最終優勝 2004 年 10 月 24 日 (フアン・パブロ・モントーヤ、BMW ウィリアムズ F1 チーム、ブラジル)

ブラバムでは、1982 年から 85 年の間、8 回優勝。ベネトンでは 1986 年、伝説的なターボが優勝する。ウィリアムズ F1(2000 年 -05 年)とのパートナーシップでは通算 10 回優勝。

1983 年、ネルソン・ピケが F1 ドライバーズ チャンピオンシップ (ブラバム BMW) で優勝。BMW ザウバー F1 チームとして参戦する以前、BMW は通算 GP 優勝 19 回、ポール・ポジション達成 33 回の記録を保持。

記録的レース結果

2006 年 1 月 16/17 日:BMW ザウバー F1 チーム、バレンシアで初参戦。BMW ザウバー F1 初の遠征。

2006 年 3 月 12 日:バーレーン GP に初参戦。

2006 年 3 月 19 日:マレーシア GP 第 2 回出場レースにて、ジャック・ヴィルヌーヴが初のワールドチャンピオンシップ 7 位に入賞。

2006 年 4 月 2 日:3 回目の出場レース、オーストラリア GP にて、ハイドフェルドが 4 位、ヴィルヌーヴが 6 位入賞。

2006 年 8 月 6 日:ハイドフェルドがチーム第 13 回目ワールドチャンピオンシップ・レースにて初のトップ 3 入賞。クビサがブダペストにてハンガリー GP デビュー。

2006 年 9 月 10 日:クビサ、イタリア GP、モンツァにて 3 位入賞。チームは総合 2 位獲得。

2006 年 10 月:ヒンウェイル風洞設備の 1 段階シフトが 3 段階まで搭載される。

2006 年 8 月 22 日:初参戦年度の最終レースにて、BMW ザウバー F1 チーム、コンストラクターズ・チャンピオンシップにて 5 位に入賞。

2007 年 1 月 16 日:バレンシアにて BMW ザウバー F1.07 と BMW ザウバー F1 チーム参戦。

2007 年 6 月 10 日:ニック・ハイドフェルドが 2 位入賞。ロバート・クビサ、マシンが大破する大事

故に遭遇するが、奇跡的に無傷。

BMW ザウバーF1 チーム、2 シーズン目の成績 3 位。マクラーレン メルセデスを除いた最終結果は 2 位決定。

チーム、スイス、ピンフィルに新しい拠点を構える。2005 年度末以来、150 人の新しい従業員がチームに加わる。

2008 年 1 月 14 日: BMW ザウバーF1.08 がミュンヘンの「BMW ヴェレト」で結成される。

2008 年 3 月 23 日: ハイドフェルド チームの最速新記録を樹立。

2008 年 4 月 5 日: クビサ、BMW ザウバーF1 チームで初のポール・ポジションを獲得。

詳しい情報は www.press.bmw-motorsport.com、

チームのオフィシャルウェブサイトは www.bmw-sauber-f1.com をご覧ください。